

としよしつだより

平成30年2月6日
六小図書室

寒さに負けず、外でたくさん遊び、たくさん読書をしましょう。

2月3日は節分でしたね。節分は、季節の分かれ目の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。今ではとくに立春の前日をいいます。立春が過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続きますね。2月なかばを過ぎると、寒い日と暖かい日をくり返し、春に近づいてきます。みなさんも寒さに負けずにがんばりましょう。

としよし 図書室のお知らせ

図書室で読書まつりをやっていきます！

2月1日（木）から2月28日（水）まで、期間中、本をかりた人に特別なしおりをプレゼント！スタンプカードにスタンプをあつめて、しおりをもらいましょう。

1月のとしよしつだよりでもお知らせをしましたが、いま、図書室では、「スタンプカード」をやっていきます。スタンプが10個たまったら人にしおりを1枚あげています。さらにスタンプが20個たまると、しおりがもう1枚もらえます。2月中、「スタンプカード」をやっていきます。かりた本の数の分をスタンプでおします。スタンプの種類も日によってちがいますので、毎日どんなスタンプがおされるか、楽しみです。よ。「スタンプカード」に興味がある人は、ぜひ図書室にきて、たくさん本をかりてみてください。楽しみながら読書をしてください。

2月のおすすめの本

〇おにの本と絵本（分類番号：38民話，91日本文学）

◆「おに」のことわざ・慣用句をいくつ知っているかな？意味を「ことわざ・慣用句辞典」で調べてみよう。いっぱいあります。

◆「おに」が出てくる物語。こわい「おに」ばかりではありません。やさ

しい「おに」もいますよ。物語で探してみてください。

〇冬の本・絵本

日本の国土の半分は、降雪地帯。昔から雪とともに生活する工夫をしてきました。雪国ではどんな生活の工夫をしているか調べましょう。

◆「冬の星座」について調べてみよう。（分類番号：44天文・宇宙）

2月の星座といえば、「オリオン座」。オリオン座について、物語があります。星の神話の本をみてみましょう。星座について調べるといろいろなことがわかって楽しいですよ。

◆冬の物語を読もう。（分類番号：91～99文学）

冬のおはなしはいっぱいあります。冬とももうすぐおわかれです。冬を楽しみましょう。

〇バレンタインデーにちなんだ本

◆チョコレートのお菓子作りの本・絵本（分類番号：59料理）

〈図書室にある本の紹介〉

『チョコレートだいすき』（しぜんにタッチ！シリーズ）ひさかたチャイルド
チョコレートをカカオのたねから作る！？作りかたがのっています。

どうやって作るのでしょうか？答えは、本を見てください。

◆「チョコレート」がテーマの物語（分類番号：91～99文学）

〈図書室にある本の紹介〉

『チョコレート工場の秘密』（ロアルド・ダール／作 評論社）

チャーリーが住んでいる町に、チョコレート工場があります。世界一大きくて、世界一有名なワんカの工場。でもだれも働く人たちの姿を見たことがない、ナゾの工場！そこへ、5人の子供たちが招待されることになりました。とっても楽しめるお話です。読んでみてください。

〇ノンフィクションを読もう！本当にあったことから、感動も大きい。

世界の探検家や世界で活躍した人たちの伝記、動物とのふれあいを書いたおはなしなど。ためになるおはなしがたくさん。本当にあった話だからこそ身近に感じられ、感動するのかもしれません。

図書室には、ノンフィクションの本がたくさんあります。本を読むのが苦手な人も何時間でも読めます。挑戦してみたいかたがでしょうか？

〈今月の人〉トーマス・アルバ・エジソン

(1847年2月11日～1931年10月18日)

みんなが
よく知っている



アメリカ、オハイオ州生まれ。発明家。「発明王」とたたえられています。小さいころ、学校教育になじめず退学し、母親に勉強を教えてもらいました。12歳の時に鉄道の新聞売り子となり、そのときに駅長の子どもの手を助けた縁で、電信技術を教えてもらいました。そして電信手をつとめながら電気の実験を行い、1869年に最初の発明である電気投票記録機の特許を取りました。その後、音を記録再生できる最初の蓄音機、40時間も発光する電球、映画撮影機、映写機など、多くの分野に発明を残し、獲得した特許は1300以上にものぼっています。晩年は会社経営したり、いろいろなことに挑戦したりしていました。84歳でなくなりました。

●エジソンはすごい人だった～発明品の紹介（ほんの一部です。）

〈エジソンの三大発明〉

- その①【蓄音器】音を記録し、何度もきける！ 1877年
- その②【白熱電球】地球から夜をなくした！？ 1879年
- その③【キネトスコープ】映画のはじまり 1891年



〈その他の発明品〉

- 扇風機（ヒーターも開発しています。）
 - ヘアカーラーのセット（かみの毛をくるくる巻きにするとときに使います。）
 - アイロン ○電話機（ベルの発明品をエジソンが改良しました。）
 - 食パンを焼くトースター
 - 電気自動車用のバッテリー
- （エコカーのさきがけ。何個か使って、160キロメートル走ることができました。）



〈今月の作家〉夏目漱石 (1867年2月9日～1916年12月9日)



夏目漱石という人を知っていますか？日本の代表的な作家であり、1984年から2007年まで千円札の肖像画にもなりました。

○夏目漱石の年表

1867年（0歳）…江戸の牛込馬場下横町（現在の東京都新宿区喜久井町）に生まれる。「漱石」は後から名乗った名前で、本名

は「夏目金之助」という。

1868年（1歳）…父親の知人であった塩原昌之助の養子となり、塩原金之介と名乗る。

1876年（9歳）…養父母の離婚により、夏目家に戻る。

1879年（12歳）…東京にあった第一中学正則科に入学。以後、英語を学ぶために学校を転々とする。

1884年（17歳）…大学予備門（後の第一高等学校）に入学。1889年頃から、俳句を作ったことで知られる正岡子規と交流を開始する。

正岡 子規
です。



1890年（23歳）…帝国大学（後の東京帝国大学）の英文科に入学して英語を学ぶ。当時の漱石の英語の成績は、とても優れていたと言われている。

1893年（26歳）…帝国大学卒業。学校の先生になる。

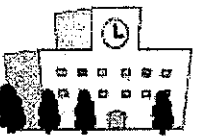
1900年（33歳）…イギリスに留学する。

1905年（38歳）…雑誌『ホトトギス』に『吾輩は猫である』を発表。

1907年（40歳）…東京朝日新聞社入社。職業作家となる。自身初の新聞連載小説『虞美人草』を執筆する。

1910年（43歳）…胃潰瘍を患い、伊豆・修善寺で意識不明になる。

1916年（49歳）…胃潰瘍のため亡くなる。漱石の死により、連載小説『明暗』は未完成のまま終了する。



○小学生向けの夏目漱石の代表作

『吾輩は猫である』『坊ちゃん』『虞美人草』『三四郎』『こころ』

以上の作品は、教科書で紹介されたり、映画やドラマの原作としても使われています。とても親しみやすい作品です。ぜひ読んでみてください。

〈1月の図書の貸し出し数〉どれだけ本を読めたかな？

【1位】3年2組 541さつ 【2位】1年2組 418さつ
【3位】3年1組 351さつ

1月の貸し出し総数は、3,288さつでした。

今月の「かりた本を期限内にきちんと返したクラス」は、

1年2組です。すばらしいですね。みなさん、かえす日はきちんとまもりましょう。よろしくお願いします。